


「官・民・金」連携の地方創生SDGsを目指した中小企業支援企画 SHIZUOKA SDGs Action!		取組開始時期	令和2年8月～	取組の カテゴリ	地域活性化
--	--	--------	---------	-------------	-------

1. 団体名	しずおか焼津信用金庫	2. 連携先の団体	静岡市、SDGsに先進的に取り組む地域中小企業
--------	------------	-----------	-------------------------

3. 取組目的	SDGsに先進的に取り組む地域中小企業の支援を行うことで、『静岡』のさらなるSDGs推進およびSDGs金融のモデル事業のひとつとなる	4. 関連するゴール	 
---------	--	------------	---

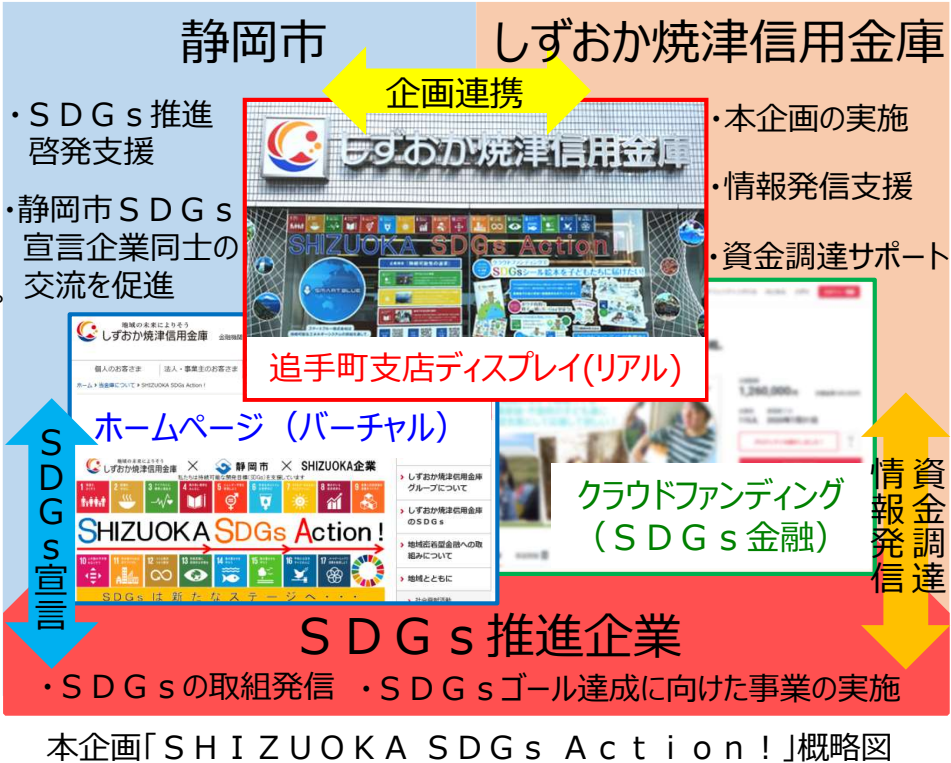
5. 取組詳細 (取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等)

本取組は、静岡市およびSDGsに先進的に取り組む地域中小企業（以下、SDGs推進企業）と連携した、「官・民・金」連携の取組である。背景として、2020年にSDGsは「行動の10年」という新たなフェーズに突入したが、未だにSDGsに積極的に取り組む中小企業は静岡県内においても約22%に留まっている。しかし一方で、SDGsに先進的に取り組んでいるが、情報発信方法や資金面に悩んでいる地域中小企業の声もあった。また、静岡市においては、市の制度である“静岡市SDGs宣言”の宣言企業同士による横との繋がりを創出することに苦慮していた。

本取組ではそのような課題を解決すべく、当金庫の地域中小企業との繋がりを活かしたSDGs推進企画を実施している。具体的には、静岡市の“静岡市SDGs宣言”を行っている地域中小企業を中心に当金庫が公募し、より特徴的な取組を行う企業8社のSDGsの取組について、以下の**3つの方法を用いて情報発信・資金調達サポート**を行っている。

①人通りの多い情報発信に適した静岡市内中心部に位置する当金庫追手町支店での店外向けディスプレイ(リアル) ②当金庫ホームページ内のSDGs専用ページ(バーチャル) ③SDGs推進企業の実施するSDGsゴール達成に向けた事業に対する資金面でのサポートとしてクラウドファンディングによる資金調達の支援(SDGs金融)を行っている。

SDGs推進企業のディスプレイは8月から2社ずつ、2カ月ごと行っており、ホームページではすでに各ステークホルダーの取組を掲載し、随時更新している。また、クラウドファンディングを活用したSDGs事業は11月より事業スタートしている。さらに本企画が、新聞・地域ビジネス情報誌・テレビ放送などにも取り上げられたことにより**SDGs推進企業の企業価値の向上等に繋がった**と感じている。今後も新たな地方創生・SDGsの実現に資する中小企業支援スキームとして継続して取り組んでいく。



取組のポイント (3つの視点)

地方創生SDGsの視点

地域中小企業のSDGs達成に向けた事業活動を当金庫が情報発信・資金調達の両面からサポートすることにより、企業価値の向上や事業拡大に繋がっている。また、SDGsに取り組む企業の先進的事業を積極的に情報発信することにより、他の中小企業を触発し**相乗効果が期待できるSDGs推進**を図ることができる。

ステークホルダーとの連携

左図にあるように、地方創生SDGs達成に向けたメインプレイヤーである地方公共団体(静岡市)および地域中小企業、そして双方と横断的に関わる中核的役割をもつ金融機関(当金庫)がそれぞれの強みを活かした取組みとなっている。

モデル性・波及性

2020年10月、内閣府の地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン説明会にもあったように、今後も地方公共団体においてSDGs登録数が増加することが考えられる。そこで、地域に密着した本取組は、他地区においてもモデル事業となり、またその地区独自の推進企画に繋がるものと考えられる。

自由記述欄

今後の展開・2030年までにありたい姿

現在、静岡県内ではSDGsに積極的に取り組む中小企業は約22%に留まっている（帝国データバンク静岡支店2020年6月調べ）。しかしながら、金融機関として地域中小企業と寄り添い対話をする中で、地域中小企業だからこそ地元へ寄り添った経営やSDGsに準ずる事業を行っていると感じている。本企画では、改めて地域のSDGs推進企業を発見・認識することができたが、未だに潜在的なSDGs推進企業が多く存在する。引き続き、地方創生SDGs達成に向けたメインプレイヤーである地域中小企業へのさらなるSDGsを推進するため、Ⅰ金融機関が地方公共団体や地域中小企業と横断的に関わりを持つSDGs達成の中核的役割であることを一層自覚し、ⅡSDGs未来都市である静岡市との連携を深め、Ⅲさらには当金庫エリア内である他市との広域的な連携を積極的に図りたい。

静岡市、SDGs推進企業からの本企画に関する声・追手町支店ディスプレイ詳細

SDGs推進の「見える化」を図るため、静岡市では、市内外の事業所・団体の取組を「SDGs宣言」として募集している。

本事業は、共通言語であるSDGsが、宣言事業所・団体を結びつける取組となっている。

個々の事業所・団体がつながり、SDGsを推進する大きな力となることを期待している。

これまでも会社内外においてSDGsの推進活動を行っていたため、本企画に参加した。

8～9月期間に追手町支店ディスプレイ展示を行ったが、その反響は予想以上だった。本企画を通じて新聞掲載されたことで外部の幅広い世代に周知されたことだけでなく、会社内部の従業員のモチベーションやSDGsの意識の向上につながった。今後とも引き続き、地域SDGsを牽引していく存在として推進活動を行いたいと改めて感じた。

【追手町支店ディスプレイ詳細】

追手町支店ディスプレイは、静岡駅に繋がる大通り沿いにあり、近隣に静岡県庁・静岡市役所、事業所や学校があり、通勤通学などの人通りが多い場所に位置する。以下の写真にあるように、左から静岡市・SDGs推進企業・当金庫のSDGsの取組について全長20m以上のディスプレイ展示をしている。

静岡市

SDGs推進企業

しずおか焼津信用金庫



当金庫追手町支店での店外向けディスプレイ展示写真

ホームページURL <https://www.shizuokayaizu-shinkin.co.jp/about/area/action/>

